

# 深草トトレイル

つれづれ深草ぐるりん歩



**凡例**

- 自然探索コース
- 歴史探訪コース
- 大岩山展望所コース
- 京都一周トレイル 東山コース
- 道標
- トレイル案内板
- 自然探索解説板
- 寺院・神社
- 施設など

Q. 深草トレイル [ウェブ検索](#)

ふらっと案内 スマホ専用アプリ「ふらっと案内」に対応



# 深草トレイルコース

## 歴史探訪コース (約3km・約2時間)

京阪伏見稲荷駅 ⇨ 伏見稲荷大社 ⇨ めりこべ地蔵 ⇨ 石峰寺 ⇨ 宝塔寺 ⇨ 瑞光寺 ⇨ 真宗院 ⇨ 嘉祥寺 ⇨ 深草十二帝陵 ⇨ 京阪藤森駅

## 自然散策コース (約5km・約2時間)

京阪藤森駅 ⇨ 十二帝陵 ⇨ 嘉祥寺 ⇨ 真宗院 ⇨ 完宗院 ⇨ 白菊の滝 ⇨ 青木の滝 ⇨ 弘法の滝 ⇨ 伏見神宝神社 ⇨ 奥社奉拝所 ⇨ 伏見稲荷大社 ⇨ 京阪伏見稲荷駅

## 大岩山展望所コース (約7km・約3時間)

京阪藤森駅 ⇨ 深草総合庁舎前 ⇨ 大岩神社 ⇨ 大岩山展望所 ⇨ 古御香宮 ⇨ 等泉寺 ⇨ 仏国寺 ⇨ 八科峠 ⇨ 伏見北堀公園 ⇨ JR藤森、京阪墨染駅、JR桃山、京阪伏見桃山、近鉄桃山御陵前

おもな見どころ

歴史探訪コース

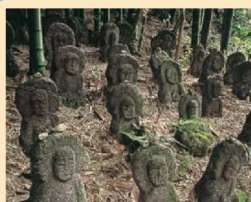
自然散策コース

大岩山展望所コース



### 伏見稲荷大社

**全国にある稲荷神社の総本宮**  
稲荷大神が東山三十六峰の最南端、稲荷山に御鎮座されて平成23年で1300年です。境内には朱塗りの鳥居が数多く見られ、特に千本鳥居は幻想的です。



### 石峰寺

**伊藤若冲による五百羅漢**  
表情豊かな石仏の下絵は、江戸中期の画家、伊藤若冲がここに庵を結び、十年余りの歳月をかけて描きあげました。



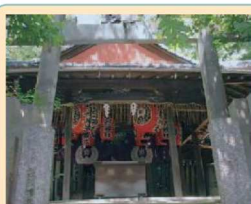
### 聖母女学院 本館

**旧陸軍第十六師団司令部庁舎**  
1908年(明治41年)に建設された本館は、明治建築を代表する赤煉瓦の西洋古典建築様式のひとつで、古典的なデザインを施された内玄関や階段など、美しい装飾が残されています。



### 深草十二帝陵

**歴代の天皇を祀る深草北陵**  
後深草・伏見天皇に始まり、後陽成まで北朝(持明院統)十二帝の遺骨が納められています。



### 大岩神社

**大岩(男神)、小岩(女神)を祀る**  
古来より、「難病の神様」と言い伝えられています。日本画家の堂本印象が寄進した、印象によるデザインの大岩二つの石の鳥居があります。



### 古御香宮 地名にも残る

豊臣秀吉が伏見城の築城にあたり、鬼門除けとして御香宮神社を移築したところが古御香宮。伏見城の廃棄後、徳川家康によって現在の御香宮に戻されました。



### 八科峠 急で険しい峠道

伏見城築城以後、京都から宇治を経て奈良を結ぶ奈良街道に至る峠として開け、旅人で賑わいました。石碑の横には荷車のために敷かれたレール「車石」の碑もあります。



### 欣浄寺 木造の伏見大仏は高さ約5.3m

木造の仏像としては日本最大級の大仏を安置。王朝ロマンで知られる深草少将の邸宅跡といわれ、少将遺愛の「墨染の井戸」などがあり、ここから山科の小野小町のもとへ通った悲恋物語が今も息づいています。



### 伏見神宝神社 かぐや姫ロマンス

狛犬ならぬ一對の狛龍がお出迎え。かぐや姫の絵馬にはかぐや姫伝説が込められています。境内では願い事を書いて奉納すると、その願いが成就するという叶雛(かなへびな)が並んでいます。



### めりこべ地蔵 歯痛封じのご利益あり

土壁に塗り込まれたお堂に祀られたお地蔵さんは、歯の痛みを封じ込めてくれるといわれます。毎年6月4日の虫歯予防デーには法要が営まれます。



### 宝塔寺 京都最古の多宝塔~七面山の絶景

色鮮やかな仁王門の天井画、応仁の乱の兵火をまぬがれた京都市内で最古の多宝塔などがあり、総門から本堂を過ぎ、七面山までのなだらかな木立の石段は絶好の散策道。



### 藤森神社 勝運と学問の神

菖蒲(勝負)の節句の発祥地といわれ、勝負の神様を祀る。5月5日に行われる藤森祭では迫力抜群の駆馬神事(かけうましんじ)も人気です。境内には名水も渾々と湧き出ます。



### 大岩山展望所

**京都の新名所が誕生**  
深草丘陵の大岩山山頂付近に2010年3月に完成。愛宕山から大阪市内のビル群までもが一望できます。



### 仏国寺 黄檗宗万福寺に属する

境内には、開山高泉碑(重要文化財)があり、1711年に鑄造した中国風の銅碑として有名。江戸初期の代表的茶人、作庭家で伏見奉行でもあった小堀遠州の墓があります。本堂には釈迦三尊と毘沙門天を安置。



### 墨染寺 桜の名所

平安時代、藤原基経の死を悲しんだ歌人上野峯雄が歌を献じたところ、桜花が喪に服して墨染色になったという伝説があり、この地、墨染の地名の由来ともなりました。



### 海宝寺

**政宗お手植えの木斛(もっこく)**  
伊達政宗の屋敷跡で、ゆかりの大木があります。寺伝の献立をもとにした普茶料理(要申し込み)が食べられます。